

令和3年度「施政方針」施策の実績内容

年度末実績自己評価：○予定通り実施済、△コロナ禍による一部未達成、▲一部未達成、×未達成、－その他(中止)

R3施策 (事業)名	R3施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
◆健康福祉施策					
①子育て支援	<p>子育て支援施設「子育て支援センター あいあい」において、「地域子育て支援拠点事業」、「ファミリー・サポート・センター事業」、「利用者支援事業」を実施し、保健センターとも連携を図りながら、一層充実した子育て支援を行います。</p> <p>また、保護者の経済的負担の軽減を図るため、3歳児以上の就学前児童の保育園等保育料の無償化や、中学校卒業までの医療費の保険適用に対する自己負担分の助成を行います。</p>	<p>子育て支援センター あいあい等において各種の子育て支援事業を実施しました。新型コロナウイルスのため、予約制、人数制限をしての開館。5月28日から6月5日まで閉館。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て支援拠点利用者数(あいあい)延べ2,271人 (しょうえんこどもこそだてルーム)延べ416人 ・利用者支援事業 相談件数 454件 (乳幼児健診年13回、しょうえんこどもこそだてルーム巡回相談年3回実施) ・ちばMyStyleDiaryの配信 ・ファミリー・サポート・センター事業 利用会員61名 協力会員22名 両方会員6名 実施件数5件 <p>幼児教育・保育無償化(幼児教育認定は満3歳児から、保育認定は3歳児から保育料等を無償化にしました。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①施設等利用給付認定 私立幼稚園6園/利用児童数75人・認可外保育園1園/利用児童数1人 ②施設型給付1号(教育標準時間)認定 私立認定こども園3園/利用児童数81人 ③施設型給付2号(3歳児以上保育)認定 公・私立保育所等10園/200人 <p>子ども医療費助成事業(出生から15歳の年度末までの子どもの保険診療に対応する医療費について助成しました。)</p> <p>課税世帯「入院」200円/1日・「通院」200円/1回・「調剤」0円/1回 非課税世帯(市町村民税所得割非課税まで)「入院」無料・「通院」無料・「調剤」無料 支給対象児童2,047人</p>	<p>・新型コロナウイルスの対策を取りながら、地域子育て支援拠点事業、利用者支援事業、ファミリーサポートセンター事業により、ストレスの緩和や育児不安の軽減が図られました。</p> <p>・子どもの医療費に対する助成に加え幼稚園授業料や保育料の無償化により、子育て世帯の経済的負担の軽減が図られました。</p>	○	こども課

R3施策 (事業)名	R3施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
②移動支援	<p>高齢者などの日常生活を支援するため、町社会福祉協議会に委託してふれ愛タクシーを運行するほか、重度の障害者や、要支援2又は要介護認定を受けている方に福祉タクシー料金の一部を助成します。</p> <p>また、運転免許証を有していない満75歳以上の方や、運転免許証を自主返納された70歳以上75歳未満の方に、タクシー利用助成券を交付します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・しすいふれ愛タクシー運行業務 利用人数 10,248人 ・平成31年4月から要支援2以上の方を含め、福祉タクシーを利用する際に運賃の一部を助成しました。 交付人数 148人 利用回数 1,615回（2月請求分まで） ・運転免許証を有していない満75歳以上の方などが、町内の移動にタクシーを利用した際に運賃の一部を助成しました。 交付人数 467人 利用回数 7,459回（2月請求分まで） ・平成31年4月1日以降、運転免許証を自主返納した70歳以上75歳未満の方に、町内の移動にタクシーを利用した際に運賃の一部を助成しました。 交付人数 16人 利用回数 139回 	<p>高齢者等の外出しやすい環境づくりが図られました。</p>	○	健康福祉課
③生きがい支援	<p>交流拠点施設「げんき館」を活用し、高齢者と多世代の交流を促進し、ライフステージにあった健康づくりに取り組み、いつまでも元気な暮らしを楽しむことができるよう支援します。</p> <p>また、介護保険の認定を受けていない60歳以上の方を対象に、生活の質の向上や心身機能の維持向上を図り、要介護状態への移行を予防することを目的に「生きがいデイサービス事業」を行います。</p>	<p>交流拠点施設「げんき館」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、緊急事態宣言中及びまん延防止等重点措置期間中は休館とし、6月19日から毎週土曜日の午後1時から4時まで相談業務として18回、延べ40人余りの来館者がありました。</p> <p>生きがいデイサービスについては、隣保館・公民館での活動を実施し、利用者の健康維持・向上のため介護予防体操の情報・助言を実施しました。なお、緊急事態宣言中及びまん延防止等重点措置期間中は在宅支援として健康状態の確認や孤立化の防止のために声かけなどを中心に実施しました。</p> <p>実施人数 火曜会 延べ178人 水曜会 延べ131人 金曜会 延べ144人</p>	<p>交流拠点施設「げんき館」は、役場の閉庁日に開館していることから、平日に役場に行けない方々が来館され、少しずつ地域に知られはじめています。</p> <p>生きがいデイサービスについては、要介護度移行への予防、地域での介護予防活動の推奨の増加が見込めます。</p>	△	健康福祉課

R3施策 (事業)名	R3施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
④健康づくり	<p>各種検診、健康教育、健康相談等を行うとともに、特定年齢の方に乳がん、子宮頸がん、大腸がん、肝炎ウイルス検診及び40歳以上の方の歯科検診を無料で行います。また、健康づくりのための「教室や運動への参加」「特定健診・がん検診の受診」などに対して、ポイントを付与し特典を交付する「健幸ポイント事業」を実施します。</p>	<p>・健康手帳の交付 210冊 ・健康相談 来所者延べ74人、電話延べ32件 ・胃がん検診 903人 ・大腸がん検診 1,973人（うち、クーポン券対象206人） ・結核、肺がん検診 1,444人 ・乳がん検診 集団 マンモグラフィ 1,000人 エコー187人 個別 マンモグラフィ 137人（うち、クーポン券対象92人） エコー15人</p> <p>・子宮頸がん検診 集団 833人（うち、クーポン券対象19人） 個別 108人（うち、クーポン券対象87人） ・肝炎ウイルス検診 318人 ・成人歯科検診 46人</p>	<p>・大腸、乳、子宮頸がん無料クーポン券対象者に再勧奨を実施し、受診者数が増加しました。</p>	○	健康福祉課
⑤介護予防事業	<p>地域で自主的に介護予防に取り組むサークルなどの活動支援のために、希望するサークルなどに講師の派遣や、地域での介護予防を広げるために、しずいハート体操の普及の促進および介護予防グループのリーダー養成を行います。</p>	<p>令和3年度8月～12月、2月に予定していた介護予防事業の講座・教室は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と町民の健康を最優先し中止しました。なお、1月と3月の実績については以下のとおりです。</p> <p>・初めてのヨガA 15人 ・初めてのヨガB 4人 ・太極拳A 12人 ・太極拳B 8人 ・しずいハート体操教室A 6人 ・しずいハート体操普及サポーター養成講座A 5人 ※人数は1コースごとの参加実人数です。</p>	<p>参加者に運動の場を提供し、冒頭で教室の実施目的を説明することで、運動不足の解消や介護予防の必要性を認識させることができました。</p>	△	健康福祉課

R3施策 (事業)名	R3施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
⑥地域包 括ケアシス テム	<p>団塊の世代がすべて75歳以上となる2025年に向けて、地域で高齢者を支える「地域包括ケアシステム」の構築が求められていることから、引き続き社会福祉法人鼎に在宅医療・介護連携や、認知症総合支援事業をはじめとする各種地域支援事業を委託し、在宅介護への支援体制強化を図ります。</p>	<p>地域包括ケアシステムの構築実現に向け、下記の地域支援事業を地域包括支援センターへ委託しました。</p> <p>①在宅医療・介護連携推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、多職種連携の会の開催を見送りました。そのため、今年度は情報交換もかねて近隣事業所のケアマネージャーを対象にアンケートを実施し、集計結果を「多職種連携の会たより第3号」として3月に発行、関係機関等に配布しました。 <p>②認知症総合支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症初期集中支援チーム員会議については、新型コロナウイルス感染状況をみながら6月、10月、12月の3回開催しました。検討件数延べ10件。 ・「しすいオレンジカフェ」は、人数制限を設け予約制にし、飲食を伴わない内容で開催することとし、緊急事態宣言等のため中止が続きましたが、3月に実施しました。7名参加。 ・認知症についての啓発チラシ「認知症かな？と思ったらお気軽にご相談ください」を作成しました。高齢化の進む地域(馬橋、尾上、飯積、墨、上岩橋、柏木、下岩橋、伊篠)に10月回覧しました。また、同様のリーフレットを役場介護保険班、包括窓口、町内スーパー、コンビニに配置しました。 <p>③地域ケア会議推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議に諮る課題を抽出し、個別会議を5回実施予定だったが2回実施、未実施の個別会議3回と推進会議は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。 <p>④生活支援体制整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議体を4回開催し新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった高齢者サロンの参加者へアンケートを行い、今後の活動等について話し合いを行いました。 ・生活支援コーディネーター便りを作成し配布をしました。 ・順天堂大学の学生と運動や健康づくりに関するチラシを共同で作成しました。 	<p>①多職種連携の会自体は開催できない状況が続いているが、取り組みを風化させないために周知を行っています。</p> <p>②オレンジカフェのように集まることは難しい状況ですが、初期集中支援チームや相談などの個別の対応は継続して行っています。また、講演会などは実施せずに、チラシ等を作成し配布することにより啓発を行っています。</p> <p>③個別会議を開催することで、地域の問題点を洗い出すことができました。</p> <p>④事業への理解が少しずつ進み、協力してくれる住民が増えてきています。</p>	○	健康福祉課

R3施策 (事業)名	R3施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
⑦母子保健	<p>妊娠届け時に親子すこやかプランの作成や、妊婦健診、乳幼児健診、マタニティ・ママパパクラス、訪問指導、心理発達相談などの事業を通して切れ目のない支援を行い、安心して妊娠、出産、子育てが行えるよう、包括的な支援を行います。</p> <p>また、出産祝品として絵本を配布する「ブックスタート」や「不育症治療費助成事業」、「ママ・パパ歯科検診」、「妊婦・乳児支援タクシー事業」の実施など、町独自の子育て支援施策を行うとともに、家族などから産後の協力を得ることが難しい家庭に助産師が訪問し、相談指導を行う「産後ケア事業」を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・母子健康手帳交付 96件 ・新生児訪問指導 70件 養育支援訪問10件 ・マタニティ・ママパパクラス(3コース実施)実人数(妊婦 21人 家族7人)延べ 46人 ・乳児相談 4か月児 対象者 88人 参加者 76人(86.4%) 10か月児 対象者 87人 参加者 65人(74.7%) ・1歳6か月児健康診査 対象者 113人 受診者 106人(93.8%)7回実施 ・2歳児歯科健康診査 対象者 91人 受診者 57人(62.6%)4回実施 ・3歳児健康診査 対象者 113人 受診者 103人(91.2%)6回実施 ・幼児健診事後指導 10回実施 延べ 36組 ・親子相談 12回実施 延べ 17組 ・ことばの教室 27回実施 延べ 71人 ・ブックスタート 85組 ・なかよしはみがき教室 7回実施 対象者 年長組98人 (酒々井幼稚園:24人、岩橋保育園:24人、中央保育園:13人、 昭苑こども園:37人) ・ママ・パパ歯科検診 ママ19人 パパ11人 ・妊婦乳児支援タクシー利用券発行 61人 	<p>乳幼児期から幼児期までを主に保健事業を通して、母子の健康の保持・増進を図ることができました。</p>	○	健康福祉課

R3施策 (事業)名	R3施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
◆教育文化施策					
①学校教育の充実	町独自の事業として、「学習指導等専門支援員配置事業」、「教育アドバイザー配置事業」、「学習活動支援員配置事業」や養護教諭が校外学習等で不在の時に学校へ出向き保健室の対応などを行う「学校保健支援教員配置事業」のほか、GIGAスクール構想に基づく教育ICTを推進するため、各学校に出向き、PCを活用したICTの授業支援を行う「ICT授業支援員配置事業」に取り組みます。	小・中学校に計画どおり「学習指導等専門支援員」、「学習活動支援員」等を配置すると共に、「教育アドバイザー」や「学校保健支援教員」を必要に応じて派遣することができています。また、今年度から事業化した「ICT授業支援教員配置事業」も年間を通じてほぼ100%、計画通り実施することができました。	「学習指導等専門支援員」、「学習活動支援員」等の各小・中学校への配置により、児童生徒の個々の状況に応じたきめ細かな指導・支援が行われました。また、今年度から実施した「ICT授業支援教員」の配置により、1人1台PCに係る教員研修及びPCを活用した授業づくりも計画どおりに進めることができ、PCを効果的に活用した学習の展開ができました。	○	学校教育課
②酒々井学	地域学習等を通して「酒々井学」の学習プログラムを作成・実施し、子どもたちや教員の酒々井町に対するふるさと意識を育むための資質能力の向上を図ります。 また、「酒々井学」を計画的に推進するための副読本「いいね！酒々井」の活用を図るほか、昔の写真から視覚的に酒々井町の歴史を学ぶことを目的に「酒々井発見伝(指導用資料集)」を作成し、町全体で「酒々井学」を実践します。	職員1名を配置し、行政と学校との連携による酒々井学の推進を図りました。これまでに作成した教員向け指導ガイド「酒々井学のすすめ」、児童生徒向け副読本「いいね！酒々井」、酒々井学指導資料集「酒々井発見伝」の3つの冊子を活用し、これまでに5つのプログラムと生涯学習(青樹堂)講義、教員研修会を協働で実施しました。また、コロナ禍のために中止になった「こども模擬議会」の代替案として町長による答弁書ビデオ視聴の授業計画を立案しました。	NIE教育(教育に新聞を)や京成電鉄との連携事業と結びつけたMM(モビリティ・マネジメント)教育等の新規事業を酒々井学に導入し、新聞や鉄道会社の支援を活用することで、より充実した学習が実践できました。特に、総務省からは主権者教育優良事例普及推進事業を依頼されるなど、6年「酒々井のまちづくり」を中心に、酒々井町教育事業が全国的に注目されました。	○	学校教育課

R3施策 (事業)名	R3施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
③一貫した 外国語教育	<p>小・中学校に1名ずつ配置しているALT(外国語指導助手)により、ネイティブな英語にふれることで、学習意欲、異文化理解及びコミュニケーション能力の向上を図り、児童生徒の確かな学力を育むとともに、保育園で養われた英語力を小学校で途切れることなく中学校へつなげることで一貫した外国語教育を実施します。</p> <p>また、外国語教育の一環として、町立中学校の3年生全生徒を対象に、英語検定の検定料を助成する「パワーアップE」事業を継続するほか、外国語教育だけでなく、国語力を高める教育にも力を入れ、しっかりと日本の文化や歴史を世界に発信できる子どもたちを育てていきます。</p>	<p>各小学校へ1名ずつ英語専科教員を、各小・中学校へ1名ずつALTを配置しました。</p> <p>国際交流派遣事業は、8月にオーストラリアへ、9月にはドイツへの派遣を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止としました。また、国際交流受入れについては、次年度へと延期しました。</p> <p>パワーアップE事業については、酒々井中学校3年生の生徒の3級以上の取得率が40.7%となりました。来年度は、中学校3年生の英語検定受検を継続する他、小学校6年生まで実施対象を広げ、さらなる英語力の向上を図ります。</p>	<p>小学校高学年では、担任、外国語専科教員、ALTが3人体制で英語授業を実施し、きめ細やかな指導をすることができました。また、各小学校では、随時、英語専科教員が講師となって指導方法等の研修会を開催し、学校内の担任が行う授業研究のアドバイスをするなど、教員の指導力向上を図ることができました。</p> <p>パワーアップE事業に係る英語検定については、英語学習のめあてとして多くの生徒が受検しました。その結果、3級以上の取得者が合計77名(2級取得者が1名、準2級取得者が18名、3級取得者が58名)となりました。</p>	△	学校教育課

R3施策 (事業)名	R3施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
④学校給食	<p>児童・生徒の心身の健全な発達のため、栄養バランスの取れたおいしい学校給食を実施し、学校給食を活用した食育の指導・推進を図り、児童・生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養います。特に、子供たちの郷土愛を育むため、町独自に酒々井町産の米や野菜、加工品の味噌などを購入し、地元産食材の利用を促進します。</p> <p>さらに、子育て世帯、特に多子家庭の保護者の経済的負担を軽減するため、引き続き第3子以降の学校給食費を免除します。</p>	<p>食育の一環として、「給食だより」を毎月発行し旬の食材の特徴や栄養面等を紹介しています。また、町広報(6月、11月、1月)に「センターからこんにちは」を掲載し、千葉県産の食材を使用した給食人気レシピを紹介しています。</p> <p>現在、学校での栄養教諭による食育指導は、新型コロナウイルス感染症の影響が生じてますが、所属校や他校の関係職員と相談、調整を行いながら授業や校内放送により実施しています。</p> <p>地産地消の推進のため、酒々井町で生産された米や加工品、旬の野菜を使用し、その購入に係る経費を町が負担しています。</p> <p>米 6,127千円、味噌 148千円 さつまいも、じゃがいも、きゃべつ、大根、玉ねぎ、長ねぎ、なす、にんじん 692千円</p> <p>学校給食費の収納は、毎月末に口座振替を実施し、振替不納者に対し再振替通知を発送し、未納者に対しては督促等を行っています。長期間の滞納のある保護者等に対し臨戸徴収や戸別訪問等を行い、滞納の解消に努めました。</p> <p>2月末現在現年度収納率99.69%。</p> <p>多子家庭の負担軽減のため、町独自に第3子以降学校給食費無償化事業を実施しています。第3子対象者 117世帯 134名 免除額計 6,778千円</p>	<p>栄養教諭は、所属校を中心に小学校1～6年生を対象に栄養バランスの取れた食事のための授業を行い、食の大切さや健康面、生産者など食に携わる者への感謝などを児童自身で考えることができました。中学校では、校内放送による食育講和を行うと共に、給食委員会の残菜調査にも協力し、生徒自身で成長期の食の大切さや生きる力となる食の正しい理解、判断力を養うことができました。</p> <p>毎月19日を「食育の日」とし、旬の食材や地場産物等を取り入れながら食文化や食生活における食育を推進しました。</p> <p>学校給食費の公会計化により、教職員の事務負担の軽減となりました。また、保護者の利便性が向上したことや児童手当からの代理納付制度の案内も容易になり、高い徴収率の維持や未納給食費の抑制となっています。</p> <p>第3子以降の学校給食費を免除したことで子育て世帯、特に多子家庭の保護者の経済的負担の軽減が図られました。</p>	○	給食センター

R3施策 (事業)名	R3施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
⑤国史跡 本佐倉城 跡保存整 備	国史跡本佐倉城跡保存整備のため城山郭等の危険木・障害木の一部伐採を行うほか、周知普及のため佐倉市と共催で講演会・城跡見学会を行うとともに、本佐倉城跡案内所で活用する城跡の地形模型や千葉氏や本佐倉城の紹介映像を作成します。	倉跡郭及び城山郭の民家裏の枯木・危険竹木の伐採を12月下旬～1月上旬に実施し、終了しました。またコロナウイルス感染拡大予防のためR4.2.19に実施予定であった講演会は開催方法を変更し、講演撮影動画をR4.3.12～3.25までweb配信し462人の方が視聴されました。R4.2.26に開催予定であった見学会は中止としました。案内所で活用する本佐倉城跡の地形模型や千葉氏・本佐倉城の紹介映像の作成も、1月末に完成し、案内所にて3月中旬から公開を行うと共に、紹介映像はweb上での配信も行っています。進捗率100%。	国史跡本佐倉城跡案内所を中心にさらなる本佐倉城跡のPR・利用を推進させ、来城者の増加・利便性の向上を図ることができ、町の文化財施設の一つとしてさらなる活用が見込まれます。	○	生涯学習課
⑥墨古沢 遺跡	墨古沢遺跡について、「保存活用計画」を基に、今後の整備活用事業の向けての実施又は実現の可能性を高める方法や方針を定めた「整備基本計画」の策定を行うとともに、計画策定を的確に進めるための有識者による(仮称)整備活用委員会を開催します。また、国の補助事業を活用し、対象用地の取得に着手します。	有識者・史跡関係者で組織する史跡墨古沢遺跡整備活用委員会をR3.6.1に立ち上げ、R3年度は3回(9/15、11/22、2/21)の会議を実施し、内容検討を行いながら原稿作成を進め、2月末に「整備基本計画」の内容をまとめ、3/1～3/14にはパブリックコメントを実施して、3月末に素案をまとめることができました。また史跡用地(民有地)分2566.79㎡の用地公有地化を国・県補助金を活用して実施し、R4.2.18に所有権移転を完了することができました。進捗率100%。	今年度に「整備基本計画」の素案ができたことから、今後は「整備基本計画」及び「保存活用計画」を推進することで、貴重な遺跡の保存・活用や周知を図ることができ、国・県の補助金も活用しながら整備事業を円滑に進められることが期待できます。	○	生涯学習課
⑦酒々井 の伝説もの づくり事業	昔の資産・記憶・民話等の地域の資源・宝を整理し、「見える化」するため、データ化等により後世へ伝承するとともに、町内外へ発信し、交流・関係人口の増進を図ります。	町の歴史や民話を「しすいみんな絵本」として見える化し、子供たちに伝えることを目的に酒々井百話検討会を設置しました。検討会は絵本・図書に精通した町民で構成しており、会議7回とフィールドワーク1回を実施しました。令和4年3月26日に「しすいみんな絵本」その4にあたる2冊が完成し、各2000冊刊行いたしました。進捗率100%	作成した絵本について、幼稚園・保育園を中心に町内外への積極的な配布を行うことで、町の歴史や民話の周知を図ることができ、後世への継承や交流が見込まれます。	○	生涯学習課

R3施策 (事業)名	R3施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
◆生活環境施策					
①消防・防 災	<p>新型コロナウイルス感染症対策を講じた避難所運営や防災体制確立のための防災訓練を実施するとともに、災害用備蓄品等の整備を図ります。</p> <p>また、水防法の改正により、更新された利根川及び高崎川流域における浸水想定区域を反映した洪水ハザードマップを作成します。さらに、多様な情報配信ツールを用いた情報伝達手段の確保及び職員参集、安否確認のためのシステム整備を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練について、新型コロナウイルス感染症対策を講じた、避難所開設、運営訓練及び災害対策本部運営(図上)訓練を実施しました。また、災害用備蓄品等整備については、食料品の更新を行うとともに、避難所における新型コロナウイルス感染症対策用品の整備を図りました。 ・洪水ハザードマップについては、水防法の改正により更新された浸水想定区域を反映した「酒々井町洪水ハザードマップ」を作成しました。 ・多様な情報手段の確保及び職員参集等のための情報配信システムについて、新たなシステムを整備しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練については、避難所開設・運営訓練及び災害対策本部運営(図上)訓練を実施し、職員のスキル向上、防災への意識付けが図れました。 ・「酒々井町洪水ハザードマップ」については、令和元年度の浸水実績等を踏まえ作成したため、今後周知を図ることで町民の安全確保につながる事が期待できます。 ・新たに整備した情報配信システムは、メールやLINEなどに一斉配信でき、災害時等において情報を迅速に町民に伝達することができます。また、職員参集及び安否確認も行えることから、職員の参集状況等も把握することができます。 	○	総務課
②交通安 全・防犯	<p>自治会や防犯ボランティア団体による防犯パトロール等の活動拠点である駅前交流センターの運営管理を行うとともに、引き続き警察官OBを配置した「防犯ボックス」を運営し、自治会及び防犯ボランティア団体との合同防犯パトロールや見守り、街頭監視を実施し、地域防犯力の向上と、住民が安心して暮らせる地域づくりを推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯事業について、町内のボランティア団体と犯罪防止活動の推進及び犯罪情勢の提供を目的に毎月「防犯連絡会議」を実施し、効果的な防犯パトロール活動の推進を図りました。 ・防犯ボックス事業については、自治会や防犯ボランティア団体との合同パトロールをはじめ、街頭監視活動及び児童等の下校時の見守り活動を実施したほか、青色防犯パトロールカーを活用し、防犯ボックス活動エリア外の地域におけるパトロール活動を実施しました。 <p>【令和3年度の活動内容】 合同パトロール103回(13団体)延べ参加人数744名、自主防犯団体への指導助言100回、見守り活動604回、店舗等への防犯指導227回、街頭監視1,606回</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯ボックス事業については、勤務員と自主防犯団体(地域住民)との合同パトロールや地域の見守り活動を通じてより多くの住民に「自分たちの地域は自分達で守る」という意識を持ってもらっています。 ・街頭監視及び下校時間帯や帰宅時間帯における児童や女性等の見守り活動などにより、地域の安心感、治安向上に寄与しています。 	○	総務課

R3施策 (事業)名	R3施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
③環境部 門	<p>狂犬病予防注射の管理、啓発を行うとともに、飼い主のいない猫の避妊・去勢手術を実施した地域猫活動団体に補助金の交付を行います。</p> <p>また、家庭における地球温暖化対策促進のため、住宅用太陽光発電システム、家庭用燃料電池システム(エネファーム)、定置用リチウムイオン蓄電池システムを設置する町民の方に補助金の交付を行います。</p> <p>さらに、不法投棄監視員の皆様と廃棄物及び残土の不法投棄一斉パトロールを実施し、監視活動の強化及び広報による啓発等を行い、不法投棄の未然防止を図ります。</p>	<p>1. 狂犬病予防 登録犬数803頭 予防注射済621頭 接種率77.33%</p> <p>2. 飼い主のいない猫の不妊去勢手術費補助金 21万円(25匹)</p> <p>3. 住宅用省エネルギー設備等設置補助金 400万円 太陽光発電システム81万9千円(7件)エネファーム10万円(1件)定置用リチウムイオン蓄電池システム308万1千円(16件)</p> <p>4. 不法投棄監視員例月パトロール実施回数 10回 収集量 1,880kg</p>	<p>1. 昨年度より接種率が1.36%アップしました。</p> <p>2. 猫の不要な繁殖増加を抑制しました。</p> <p>3. 家庭における温暖化対策に寄与しました。</p> <p>4. 町内の不法投棄を毎月撤去しました。</p>	○	経済環境課

R3施策 (事業)名	R3施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
◆都市基盤施策					
①まちづくり施策	木造戸建て住宅の耐震化を促進するため、耐震診断及び耐震改修工事に係る費用の補助及び雨水の流出抑制や生活環境の向上を図るため、住宅リフォーム工事費用の補助を行います。	<p>(計画)</p> 木造戸建て住宅の耐震診断:3件 木造戸建て住宅の耐震改修工事:3件 住宅リフォーム工事:30件 <p>(実施状況)</p> 木造戸建て住宅の耐震診断:0件 木造戸建て住宅の耐震改修工事:0件 住宅リフォーム工事:24件	住宅の耐震化等工事費用の補助により、地震時における木造住宅の安全性を高め、災害に強いまちづくりの推進に努めました。 住宅リフォーム工事費用の補助により、町民の生活環境の向上と町内産業の活性化を図る効果があります。	▲	まちづくり課
②宅地耐震化推進事業	地震時の宅地の安全確保、災害防止を推進するため、大規模盛土造成地に対して現地踏査や基礎資料の整理を行い、第二次スクリーニング(地質調査や安定計算)を実施し、対策の優先度を判定する大規模盛土造成地変動予測調査を行います。	<p>(計画)</p> ・第1四半期に業務委託の発注を行い、12月までに調査を実施 ・年度内に調査結果を公表 <p>(実施状況)</p> ・第二次スクリーニングの優先度評価、第二次スクリーニング計画書の作成、経過観察計画の作成、大規模盛土造成地マップの更新、宅地カルテの更新を行いました。 ・今年度の調査結果を町のホームページに掲載して周知を図りました。	第二次スクリーニング計画を策定することにより、計画的に第二次スクリーニングを進めていくことができました。また、本調査の結果、優先度が低く早期に地質調査が必要でなはない盛土は当面の間経過観察を行うこととなりますが、経過観察の着目点を整理することにより、今後は誰でも容易に点検を行えるようになります。	○	まちづくり課
③道路整備・維持管理	<p>通学路等の安全確保を優先とした改良工事や無電柱化整備、橋梁長寿命化修繕事業などを、国の交付金を有効に活用しながら順次実施します。</p> <p>また、JR酒々井駅自転車等駐車を含め、京成酒々井駅及びJR南酒々井駅前の自転車等駐車場の管理を行います。</p>	<p><計画></p> ・町道02-009号線電線共同溝工事(L=105m)等を実施する。 ・橋梁長寿命化修繕計画に基づいた橋梁点検及び、伊篠大橋の補修工事を行う。 ・駐輪場の定期的な点検を実施し、現場内の利用環境を保つ。 <p><実施状況></p> ・町道02-009号線電線共同溝工事(L=105m)が完了。 ・橋梁点検業務完了。伊篠大橋の補修工事完了。 ・毎週1回駐輪場場内の点検を実施。	・電線共同溝を実施することにより、防災機能及び景観が向上しました。 ・橋梁修繕を実施したことで、今後の致命的な損傷を防ぎ長期にわたる利用が期待出来ます。 ・駐輪場内の点検をすることで利用状況の把握及び円滑な運用を行うことが出来ました。	○	まちづくり課

R3施策 (事業)名	R3施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
◆産業経済施策					
①農業施策	<p>イノシシ等の有害鳥獣被害防止対策に取り組みます。</p> <p>また、農用地・水路等の地域資源の多面的機能の保全管理を行う地域団体に対して多面的機能支払交付金を交付します。</p>	<p>①イノシシ等の有害鳥獣被害防止対策について、目撃情報はあるものの、目立った被害等は起きませんでした。今後も現状設置している13基の見回りを継続していくとともに、新たに購入した2基の箱ワナを活用し、被害防止に努めていきます。</p> <p>②多面的機能支払交付金については、根古谷環境保全会に対し、1,054,560円を交付し、3月末までに予定されていた農地維持活動及び資源向上活動を実施しました。</p>	<p>①イノシシ等の有害鳥獣被害防止について各種対策を講じることにより、今年度においては農作物被害の防止が図られました。</p> <p>②多面的機能支払交付金を活用して農地維持・資源向上に関する各種活動を実施することにより、国土の保全・水源の涵養・自然環境の保全・良好な景観の形成・文化の継承等の農業・農村の有する多面的機能を発揮することができました。</p>	○	経済環境課
②ICを活用した地域振興	<p>酒々井インターチェンジ周辺の土地利用について、富里市・八街市・酒々井町の2市1町で構成する「酒々井インター周辺活性化協議会」により、多様なまちづくりの観点からICの効果を十分発揮できるよう利活用を検討します。</p>	<p>富里市・八街市・酒々井町で構成する「酒々井インター周辺活性化協議会」の総会などの会議は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止のため、書面開催とし、酒々井インターチェンジの効果を十分発揮できるような利活用を検討するための今後の事業や取り組みなどについて情報共有することができました。</p> <p>また、酒々井インターチェンジを活用し、地域の活性化を図るため、千葉県及び成田国際空港株式会社へ要望活動を実施しました。</p>	<p>千葉県及び成田国際空港株式会社への要望活動実施により意見交換が図れました。酒々井インター周辺活性化協議会の書面開催による会議などにおいて、今後の事業や取組状況について情報の共有が図れました。</p>	○	企画財政課
③観光事業	<p>酒々井プレミアム・アウトレットの隣接地である「まるごとすい」において、定期的なイベント等の開催、町の観光物産等を展示紹介する情報発信コーナーを設置し、町のイメージアップと街中への誘客を図ります。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため8月一部休館し、9月全日休館。土日祝日、まるごとすいを使用して「楽市」を開催。</p> <p>イベントについては、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため実績なし。</p> <p>【来館者数】 4月 1,218人、5月 1,509人、6月 1,302人、7月 1,422人、8月 101人 10月 1,219人、11月 1,243人、12月 874人、1月 962人、2月 930人 3月 1,192人、令和3年度計 11,972人(令和2年度実績 7,725人)</p>	<p>土日祝日、まるごとすいを使用して実施している「楽市」の効果もあって、来客数は増えています。</p>	△	経済環境課

R3施策 (事業)名	R3施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
◆地域社会と行財政施策					
①住民参加・協働	<p>地域住民が主体となって実施する都市公園等の環境美化活動等への支援や生活環境整備工事に必要な資材等の支給を行うなど、住民公益活動を支援します。</p> <p>また、地域住民の活動拠点となる「下宿ベース」を活用し、地域活動や町民参加意識に応えるとともに、地域の特色を活かした住民活動を支援します。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公園等愛護活動推進事業 実施団体:13団体 実施公園等:19箇所 2. 花いっぱい運動 実施団体:9団体 実施回数:2回(春・秋) 3. 資材等支給事業 実施地区:4地区 4. 住民公益活動補助事業 実施団体:1団体 5. 地域活動拠点施設運営事業 利用団体:3団体 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 公園等愛護活動推進事業 13団体が19箇所の公園等で清掃・除草作業等を行い、環境の美化が進みました。 2. 花いっぱい運動 町内各所において、6月に8団体が2,380ポットの花苗を、11月には9団体が2,275ポットの花苗と680個の水仙の球根を植えました。 3. 資材等支給事業 5月に下岩橋地区の私道(共用)整備を、9月に飯積地区の景観整備を、令和4年2月に本佐倉地区の町道及び農道整備を、3月に上岩橋(大崎)地区の町道整備を行いました。 4. 住民公益活動補助事業 1団体により令和4年1月23日、映画鑑賞会が行われました。 5. 地域活動拠点施設運営事業 下宿ベースの貸し出し件数は8件でした。また、緊急事態宣言の発出に伴い、8月・9月は休館しました。 	○	住民協働課

R3施策 (事業)名	R3施策等概要	実績内容	実施効果	自己評価	担当課
②GIS地図 情報システム	町と住民等の行政情報と地域情報を共有できるGIS地図情報システムを活用した住民の安全・安心なまちづくりを進めます。	1. 100年安全・安心に住めるしすいづくり事業 情報公開データの更新 庁内情報共有	1. 100年安全・安心に住めるしすいづくり事業 町ホームページ「しすいマップ」の「バス停及び周辺施設マップ」「選挙情報」を11月に更新しました。 各課における運用方法を再確認するため、12月に全職員へアンケート調査を実施し、庁内情報共有についての検討を進めました。	○	住民協働課
③町税	賦課徴収事業では各種電算業務委託や課税客体調査業務等を実施し、町税の適正で正確な賦課と公平な徴収を行います。 また、LINE PayPayのスマートフォンアプリを活用した電子収納を実施し、納税者の利便性の向上を図ります。	賦課徴収事業では各種電算業務委託や課税客体調査業務等を実施し、町税の適正で正確な賦課および公平な徴収を行うことができました。 また、令和3年度中のスマートフォンアプリを活用した電子収納の利用数は令和4年3月末時点で1,344件となり、見込み通りの実績となりました。	スマートフォンアプリを活用した電子収納のサービスを活用することで納付の利便性が増し、公金取扱い金融機関が減少する中においても必要なツールとなることが期待できました。	○	税務住民課